

沖合予測地点および津波予報データベースの設定位置

沖合予測地点分布

図1～図8に、沖合予測地点（Forecast Point：FP）の分布を示す。

図を参照する際の留意点は以下のとおり。

- ・沿岸付近の○が沖合予測地点の場所を示す。○の右横にある数字は、沖合予測地点につけられた番号である。
- ・沿岸付近の灰色のコンターは、50m、100m、150m、200mの等深線を示す。
- ・海岸線に沿って塗られている色で津波予報区の区分を表す。（ピンク、青、緑には特に意味はない）
- ・図の描画に用いた海底地形データは、津波データベース作成のために津波シミュレーションに用いている空間1分メッシュのデータである。
- ・陸は緑で塗っている。
- ・具体的な量的津波予報データベースの沖合予測地点（FP）の位置座標は、本資料に添付されている「沖合予測地点関連パラメータ.xls」を参照。

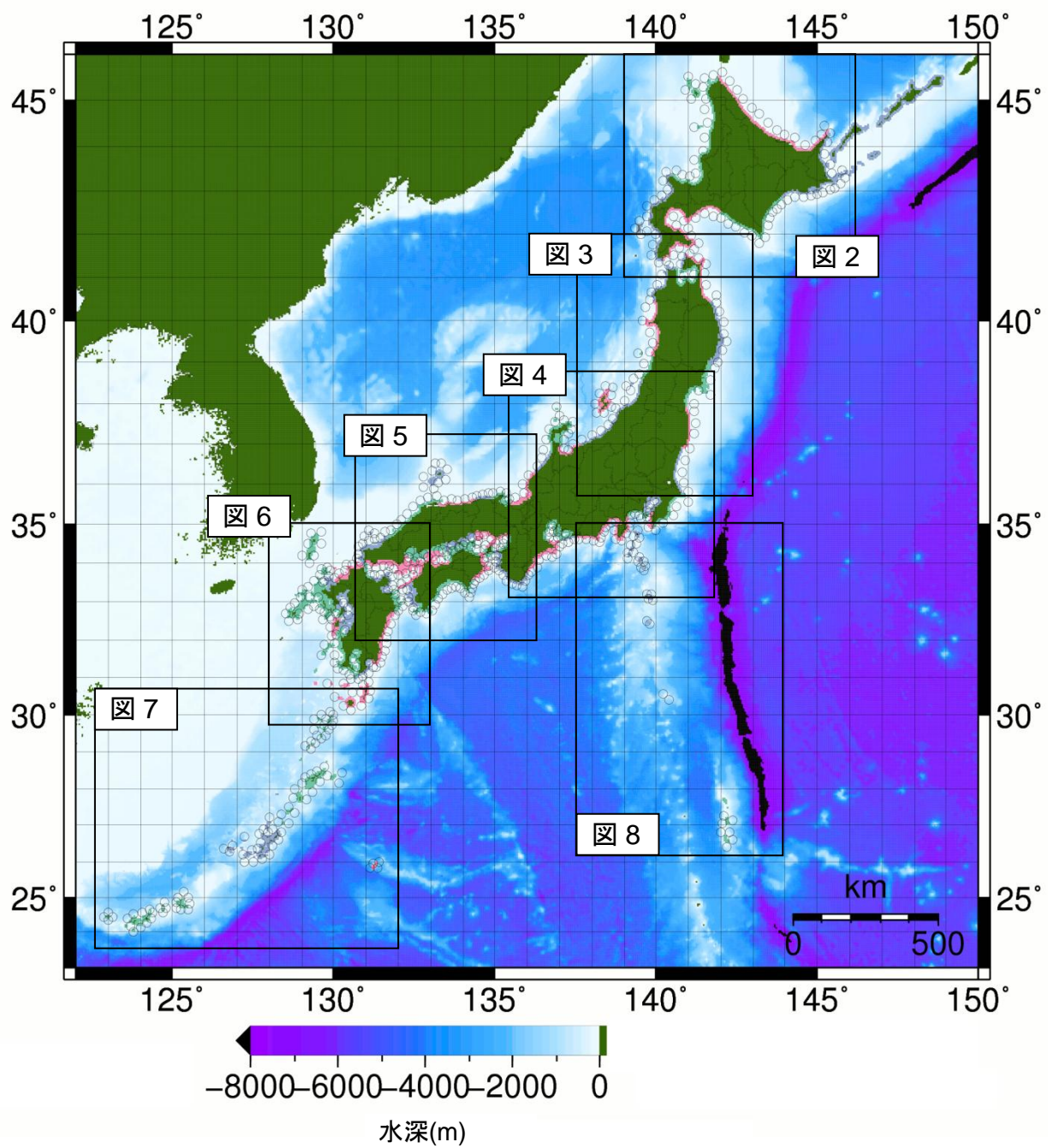


図1 全国の沖合予測地点分布

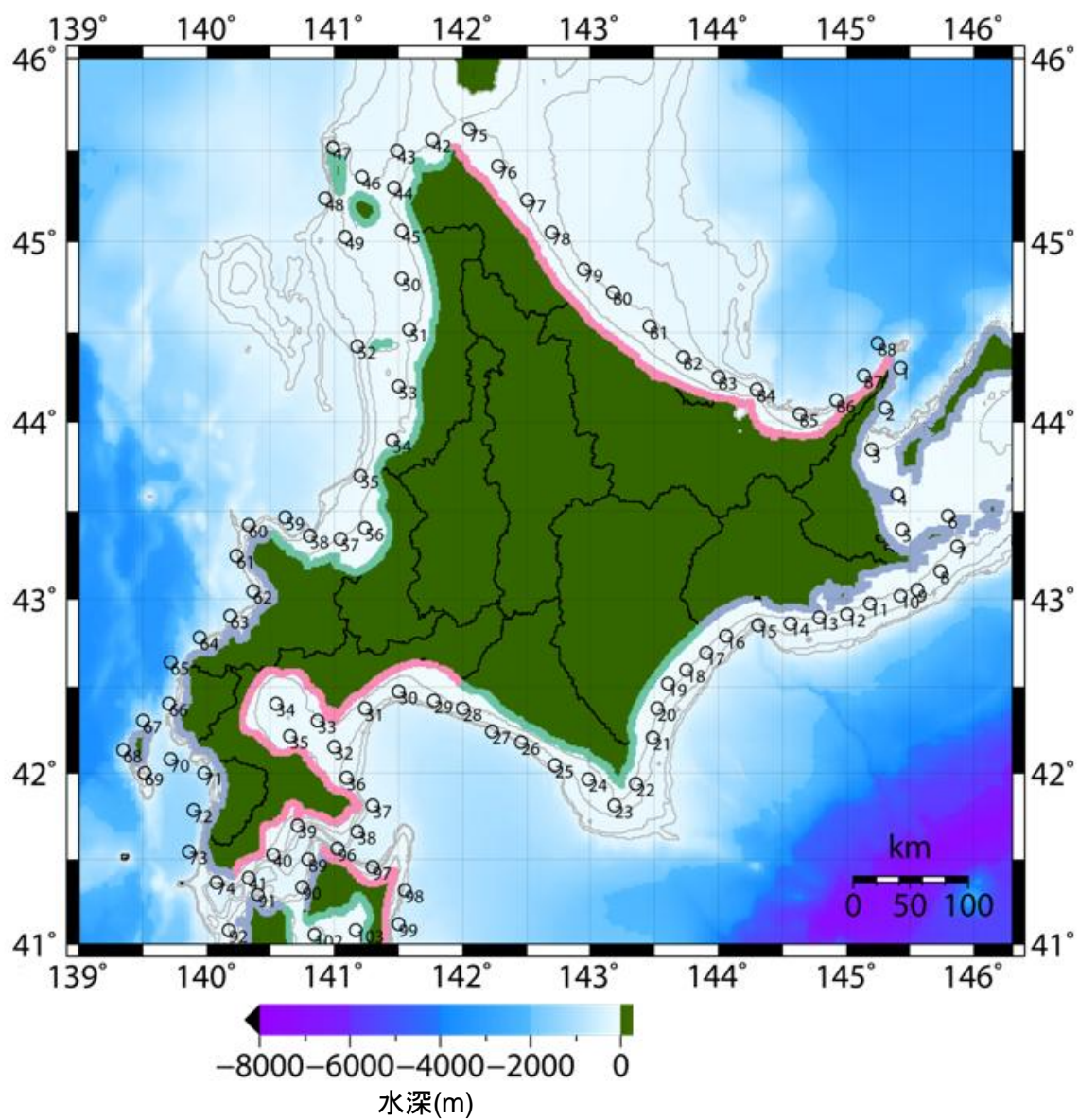


図2 北海道地方の沖合予測地点分布

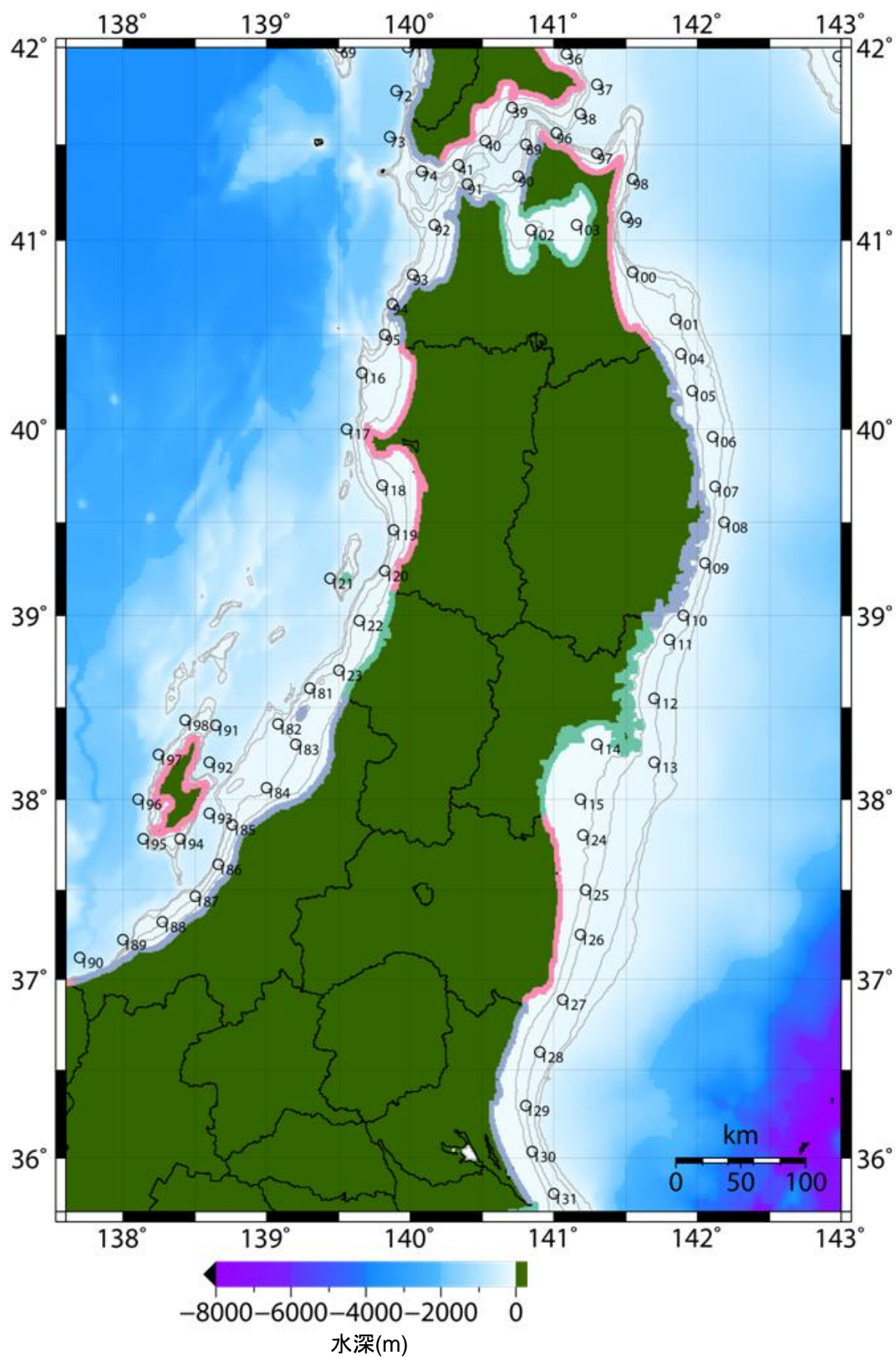


図3 東北地方の沖合予測地点分布

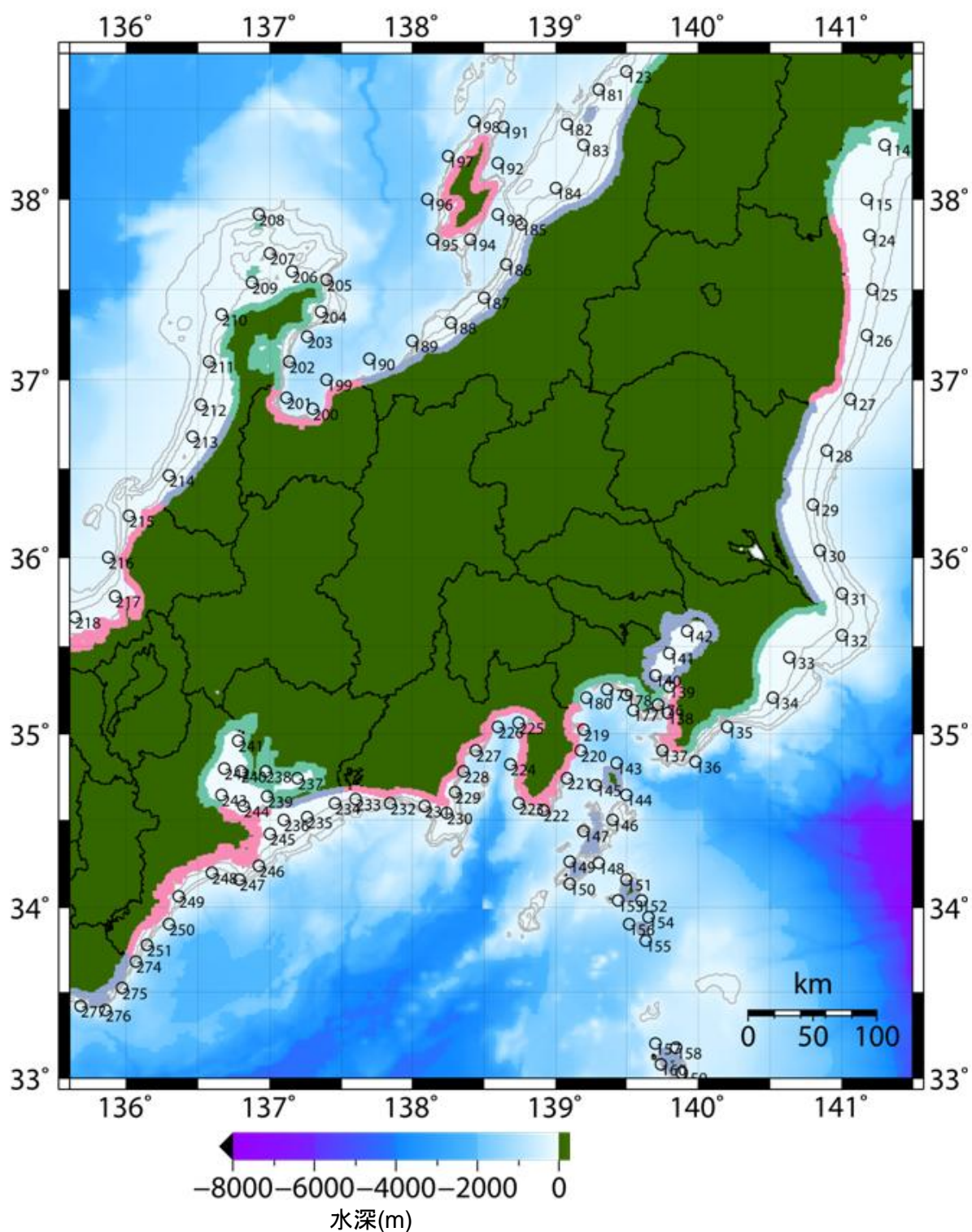


図4 関東・中部地方の沖合予測地点分布
(伊豆諸島及び小笠原諸島を除く)

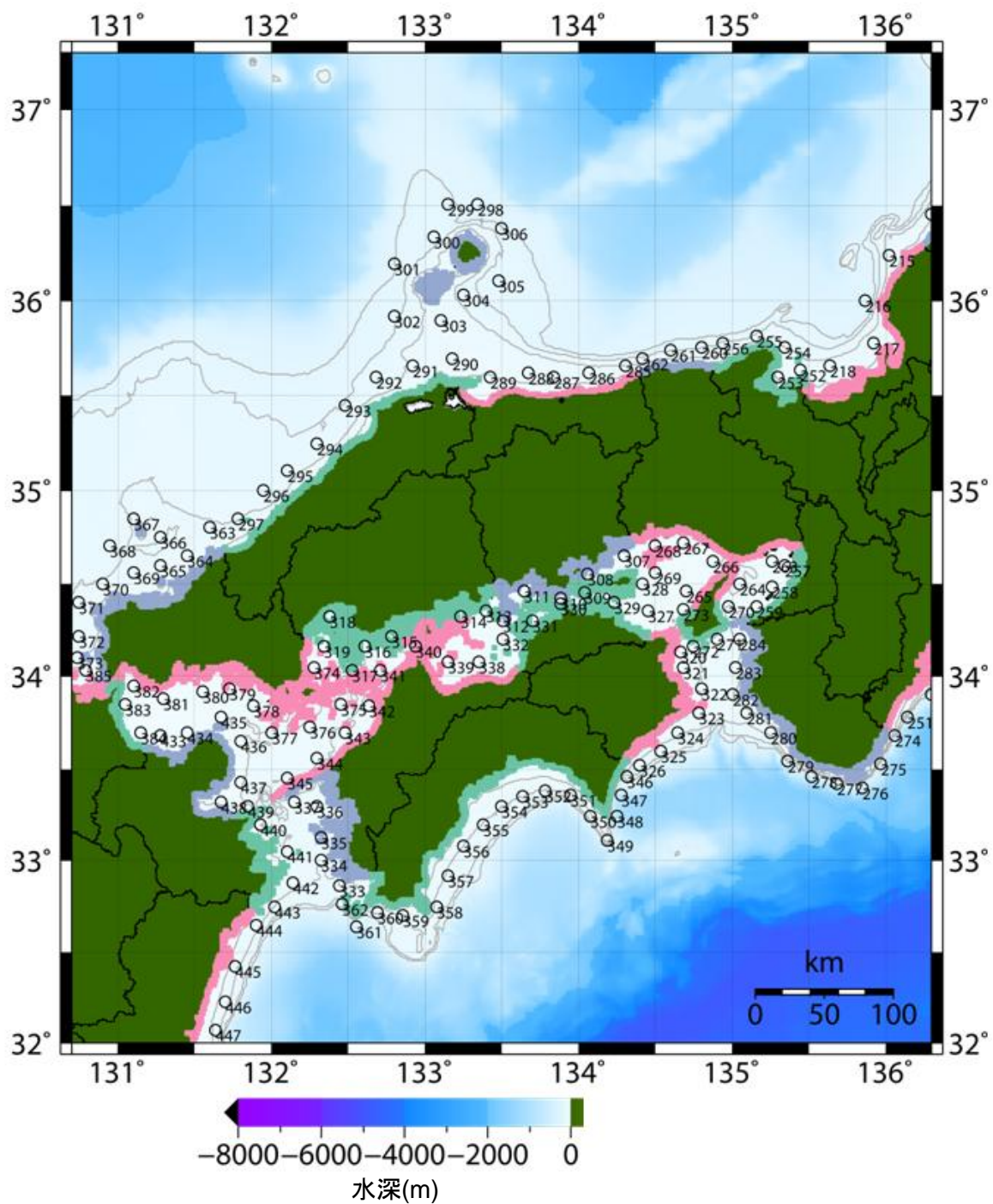


図5 近畿・中国・四国地方の沖合予測地点分布

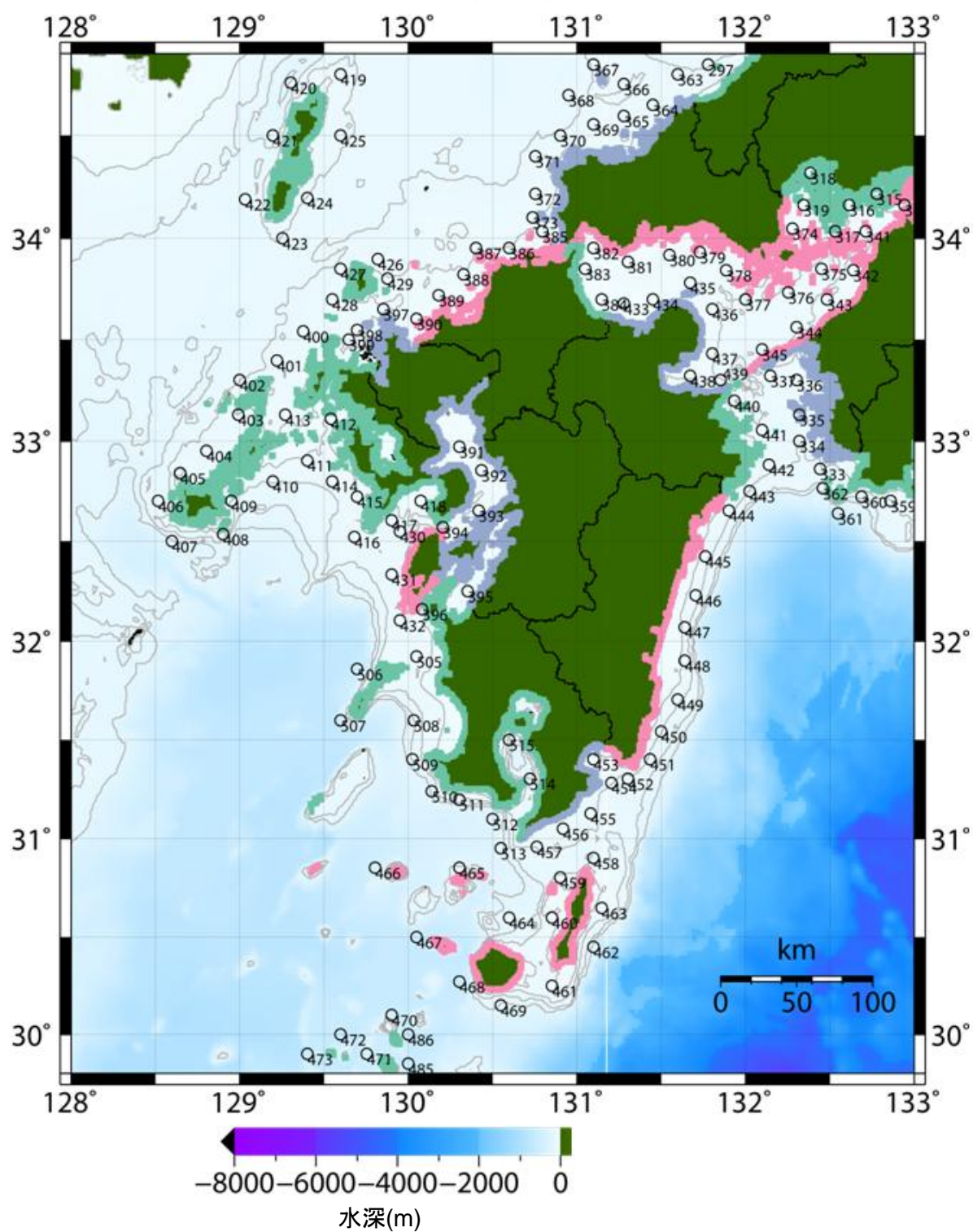


図6 九州地方の沖合予測地点分布

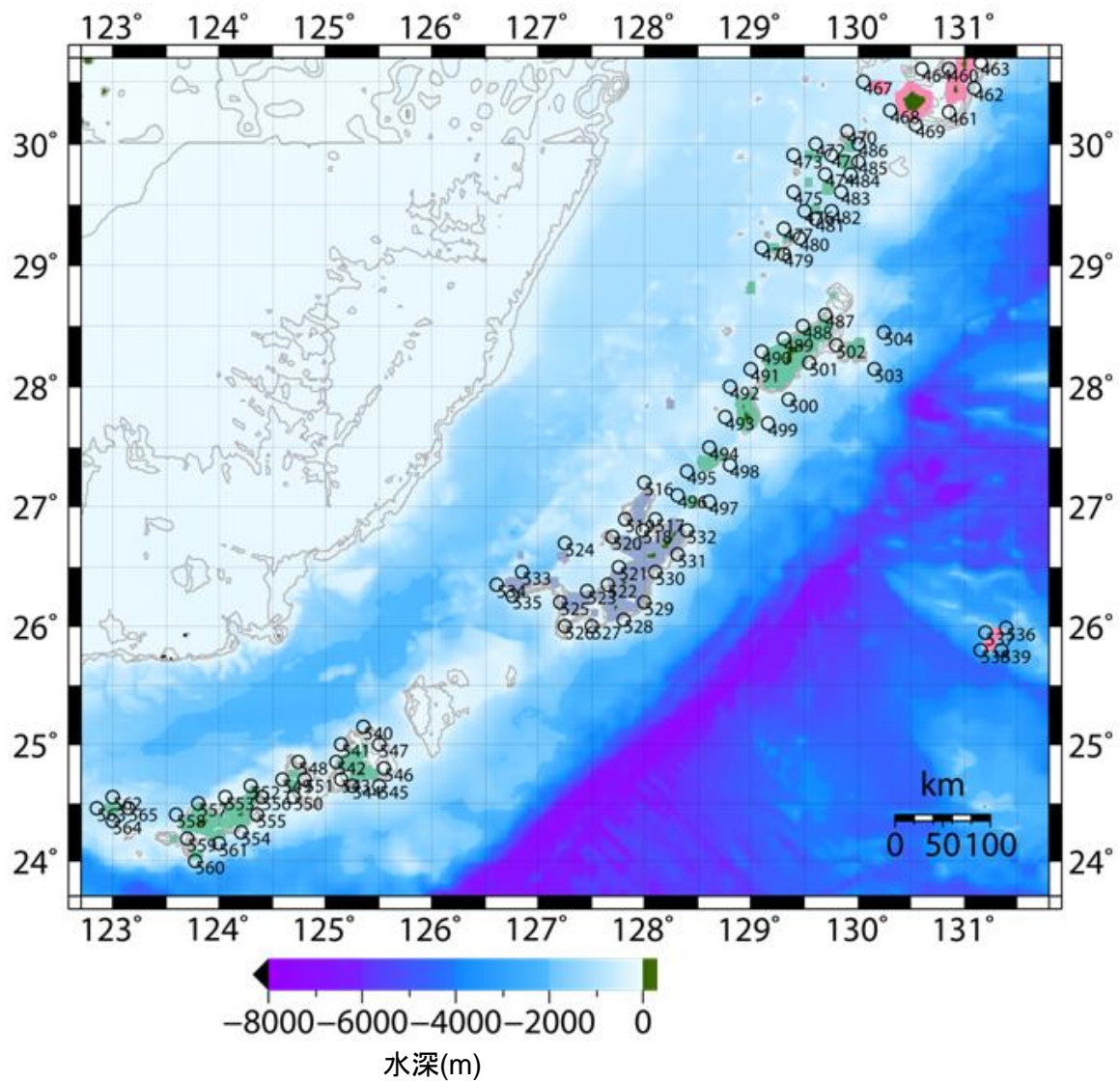


図7 沖縄地方の沖合予測地点分布

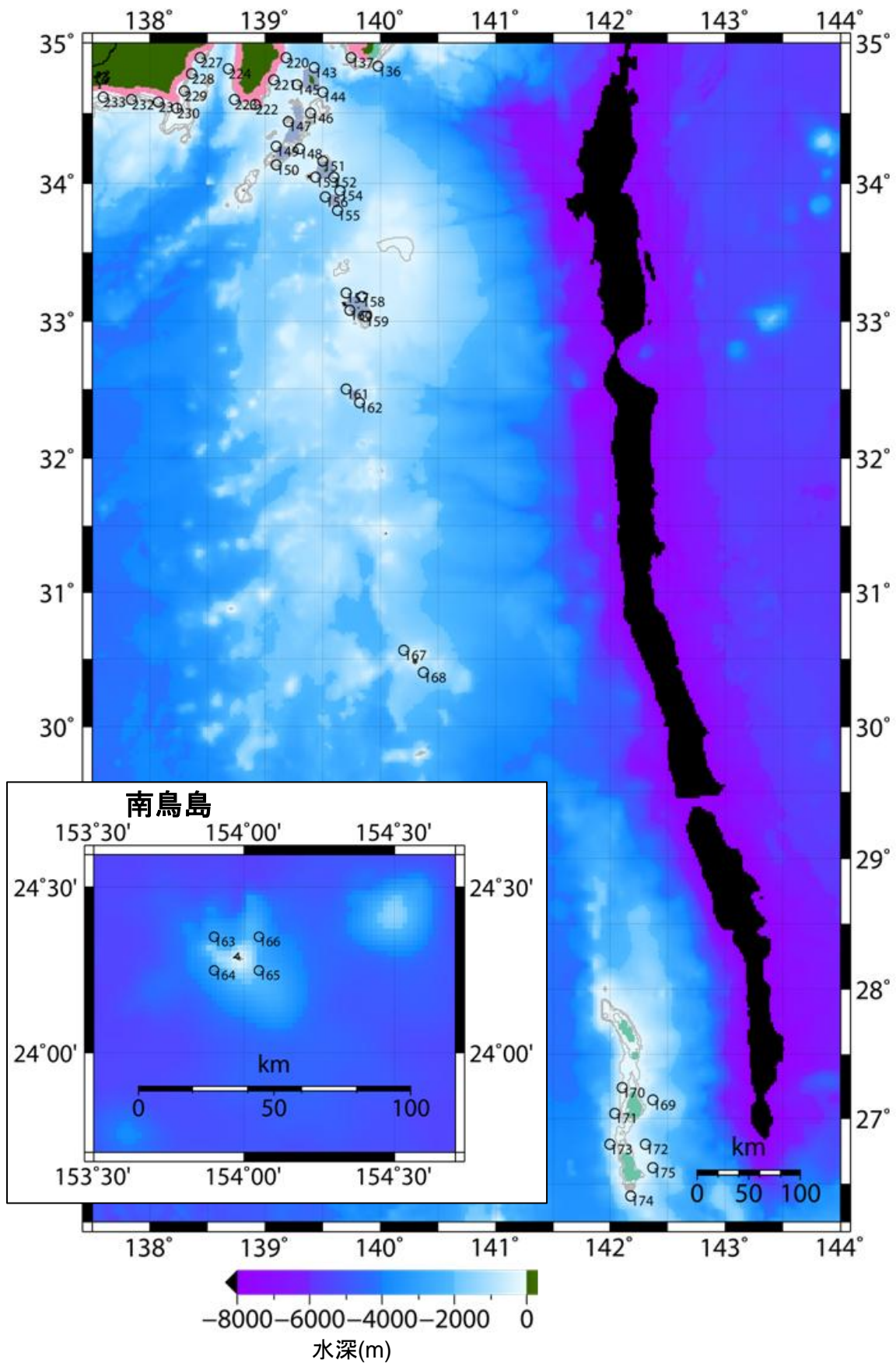


図8 伊豆諸島及び小笠原諸島の沖合予測地点分布

近地地震に関する津波のデータベースの設定位置

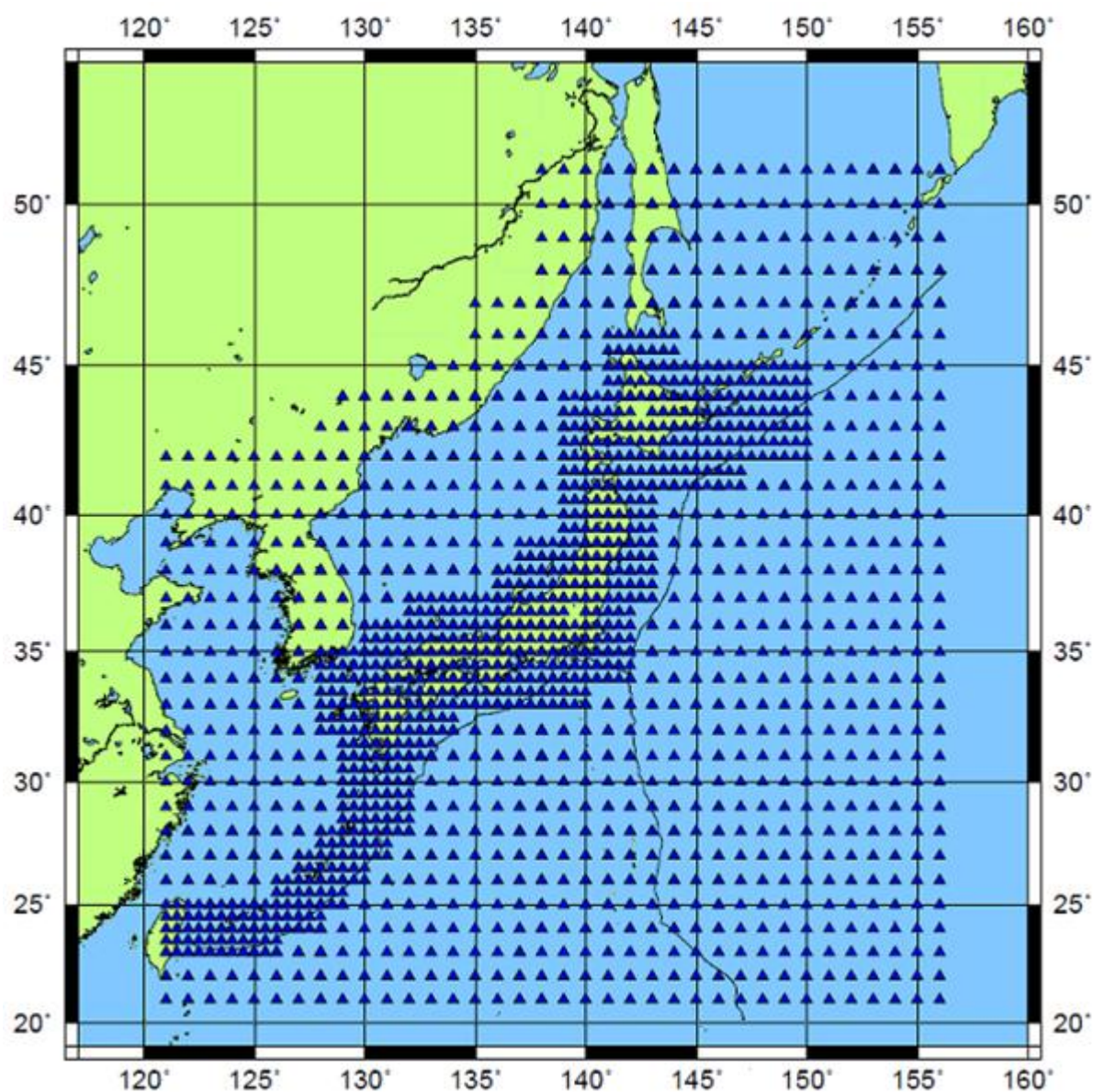


図9 データベースの断層設定場所
日本列島周辺は0.5度間隔、そのほかの領域は1.0度間隔で設定

- 具体的なデータベースの設定位置座標及び断層の走向と、最大危険度法で用いる検索用断層モデルの位置座標及び走向は、本資料に添付されている「近地津波データベース関連パラメータ.xls」を参照。

遠地地震に関するデータベースの設定位置

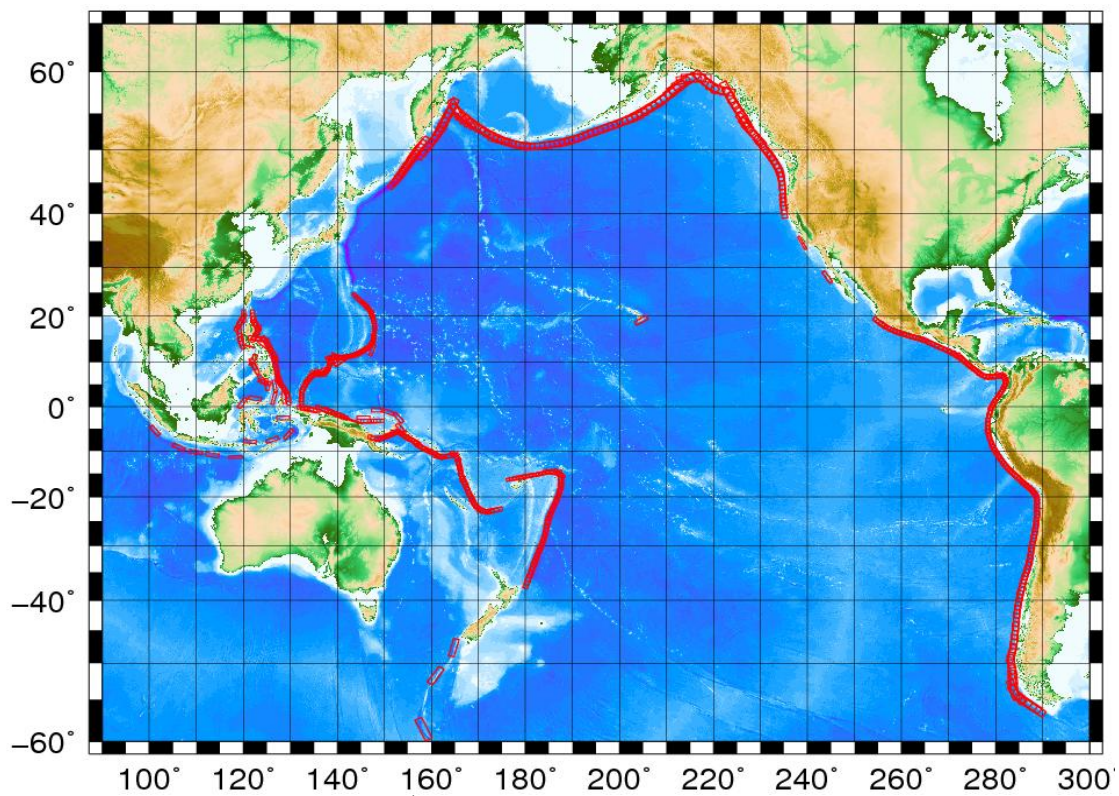


図10 遠地津波データベースの位置

M8.5の断層の分布を赤色の矩形で示す

黄色枠内は近地津波データベースがカバーしている領域

- 具体的なデータベースの設定位置座標と断層パラメータは、本資料に添付されている「遠地津波データベース関連パラメータ.xls」を参照。